

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
AA41G021		データサイエンス入門(Introduction to Data Science)						オンライン(オンデマンド型)									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	1・2・3	医学部医学科	前期		氏名 上白木悦子(基盤教育センター長), 未定(数理データサイエンス専門部会長)											
						E-mail dsintro@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	これからのデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事等の場で使いこなすことが要求される。この科目ではそのための基礎的素養を学ぶ。さらに、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に、これらを説明し、適切に活用できるようになることをめざす。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを説明できる。																
目標2	データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ・AIを活用する価値を説明できる。																
目標3	データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを説明できる。																
目標4	適切なデータ可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる。																
目標5	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理について説明できる。																
目標6	個人のデータを守るために留意すべき事項を説明できる。																
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	社会におけるデータ・AI利活用		データサイエンスとは/社会で起きている変化(教育:市原,中原,杉山)(医:安徳)														
2	社会におけるデータ・AI利活用		データ・AI利活用の現場/データ・AI利活用の最新動向(経済:小野(宏))(教育:市原,中原,杉山)														
3	社会におけるデータ・AI利活用		大分大学教員における研究事例紹介/社会で活用されているデータ(経済:小野(宏))														
4	社会におけるデータ・AI利活用		データ・AIの活用領域/データ・AI利活用のための技術(理工:高見,畑中)														
5	データリテラシー		データを読む(医:谷川,岩城)(福健:中里)														
6	データリテラシー		データを説明する/データを扱う(理工:未定)														
7	データ・AI利活用における留意事項		データ・AIを扱う上での留意事項(理工:原(恭))														
8	データ・AI利活用における留意事項		データを守る上での留意事項とまとめ(教育:市原,中原,杉山)(基盤セ:上白木)														
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラック	A:知識の定着・確認		演習課題への取り組み										工夫		LMS(Moodle)の活用		
ブロック	B:意見の表現・交換												その				
ニテ	C:応用志向												他の				
ンイ	D:知識の活用・創造												の				
グ	D:知識の活用・創造																
時間外学修	準備学修		参考書等を事前に読んでおく。(7h)														
の内容と時間	事後学修		講義資料や参考書等を用いて復習する。演習課題に取り組む。(15h)														
の目安	学修																
教科書	教科書は指定しない。																
参考書	北川源四郎, 竹村彰通 編『教養としてのデータサイエンス』講談社, 2021年 上藤一郎 著『絵と図でわかるデータサイエンス』技術評論社, 2021年																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	「社会におけるデータ・AI利活用」についての演習課題		50%														
	「データリテラシー」についての演習課題		25%														
	「データ・AI利活用における留意事項」についての演習課題		25%														
小テスト及びまとめテストの点数が満点の60%以上になると単位修得条件を満たします。																	
注意事項	オンデマンド型オンライン授業として実施する。 学修スケジュールをMoodleに掲載するので、必ず確認すること。																
備考	オムニバス形式の授業である。なお、本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)の政府認定を受けた「データサイエンス基礎教育プログラム」の必修科目である。																
リンク																	
	URL																